

東伯風力発電所 風車 2 号機の火災について（報告）

令和 8 年 10 月 26 日
町民生活課

1 概要

令和 8 年 10 月 24 日（土）午前 11 時 25 分ごろ、琴浦町金屋地内の東伯風力発電所 2 号機で火災が発生し、同日午後 2 時 6 分に鎮火した。人的被害はなかった。原因は調査中である。

発生場所	東伯風力発電所 2 号機（琴浦町金屋地内。北栄町との町境付近）
鎮火の状況	高所のため消防の放水が届かず、自然鎮火となった
焼損の状況	・地上約 65mにある風車の発電施設「ナセル」（発電機等を収めた風車上部の機器室）から出火し、ブレード（羽根）の一部へ延焼した ・風力発電機 1 機、付帯設備及び芝畑 5 m 四方程度を焼損した
他の風車	事業者が、東伯風力発電所の 2 号機以外の 11 基を緊急停止している

2 現場周辺の安全確保

- ・北栄町の協力を受けて道路を通行規制し、周囲を立入禁止としている。
- ・台風の接近に伴いブレード等が落下する可能性が高まることから、引き続き通行規制と立入禁止を行っている。

3 発電所の概要

名称	東伯風力発電所
発電事業者	日本風力開発ジョイントファンド株式会社
稼働	平成 19 年 4 月
出力	18,000kW（1,500kW×12 基）
高さ	ナセル 地上 64.7m、ブレード最高到達点 地上 99.95m（ブレード直径 70.5m）

4 風力発電所の安全確保等に関する協定に基づく対応

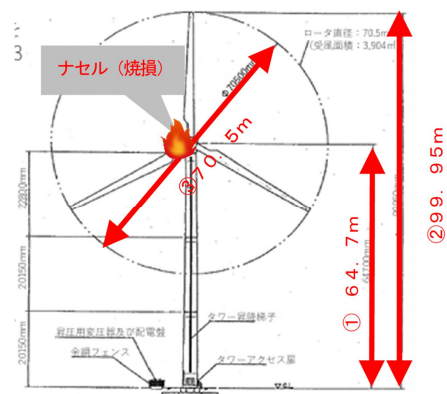
本発電所では、令和 2 年 1 月 8 日（水）に発生した 4 号機のブレード破損事故を受けて、事業者、琴浦町及び鳥取県の 3 者で「風力発電所の安全確保等に関する協定書」を締結している（4 号機は令和 4 年に撤去済み）。今回の火災を受けて、同協定に基づき、事業者に次の対応を求めている。

協定の条項	事業者に求めている対応
第 3 条第 3 項	被害防止又は被害の拡大防止のための措置（周辺の安全の確保）
第 3 条第 4 項	事故の原因究明と再発防止に関する経過及び結果の町と県への報告

※同協定第 3 条第 5 項により、事業者が運転を停止した発電設備の運転を再開しようとするときは、事前に琴浦町、鳥取県及び関係自治会その他関係者の同意をとらなければならない。

5 今後の予定

- ・事業者が、協定に基づき、事故の原因究明及び再発防止策の検討を行い、その経過及び結果を町と県に報告する。
- ・進捗に応じて、議会に報告する。



<状況写真>

